

# 2018年度決算

株式会社フジクラ

2019年5月14日



# 目次

1. 2018年度実績及び2019年度予想
2. セグメント情報
3. 株主還元

# 1. 2018年度実績及び2019年度予想

# 2018年度実績

(単位:億円)

	2017年度	2018年度	2018年度 -2017年度 増減
売上高	7,400	7,107	▲292
営業利益	343	276	▲66
営業利益率 (%)	4.6	3.9	▲0.7
持分法投資損益	15	12	▲2
経常利益	341	210	▲131
親会社株主に帰属する 当期純利益	183	14	▲169
1株当たり当期純利益(円)	64.36	5.09	▲59.27
1株当たり配当(円)	14.00	12.00	▲2.00
自己資本利益率(ROE)(%)	8.7	0.7	▲8.0
為替換算レート(USD/JPY)	110.86	110.93	—
銅ベース(千円/トン)	757	747	—

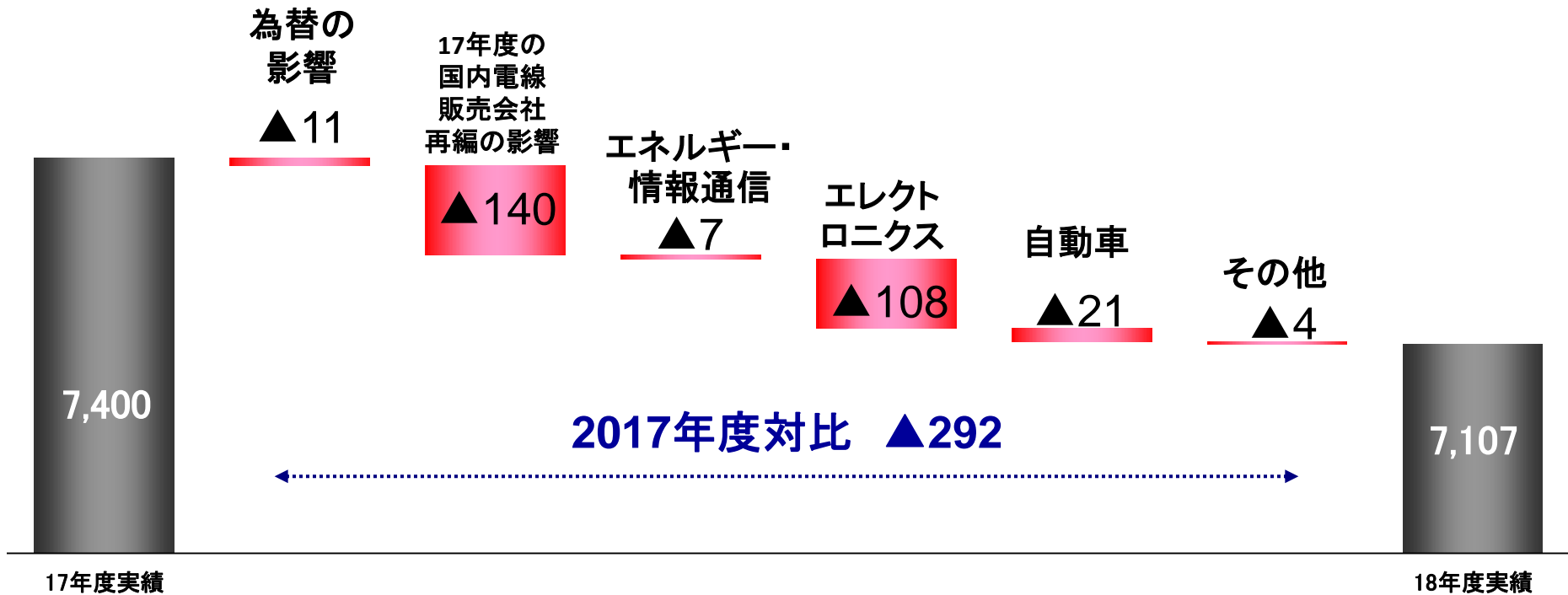
# 2018年度決算概要

- 売上高は、前年度に国内電線販売会社の再編を行ったことに加え、エレクトロニクスカンパニーでスマートフォン向け需要減速の影響を受けたこと等により減収。
- 営業利益は、国内外マーケットの競争激化の影響に加え、バングラデシュの送電線工事において材料費の急騰等に伴うコスト増を引き当てたことや、スマートフォン向け需要が4Qに急減した影響などにより減益。
- 経常利益は、営業利益の減少に加え、ドル建て受注の増加に伴い期首計画\$105円の利益を確保するためヘッジ目的でドル建て借入金を導入した結果、計画レートに対し円安に推移したことによる営業利益増の一部がキャンセルされることや、先行投資の金利負担等、営業外費用の増加により減益。
- 親会社株主に帰属する当期純利益は、経常利益の減少に加え、ブラジルにおける電力向け事業が不振であったことに伴う投資損失や品質不適合品関連損失などの特別損失により減益。

# 2018年度 売上高の増減要因(前期比)

## 売上高

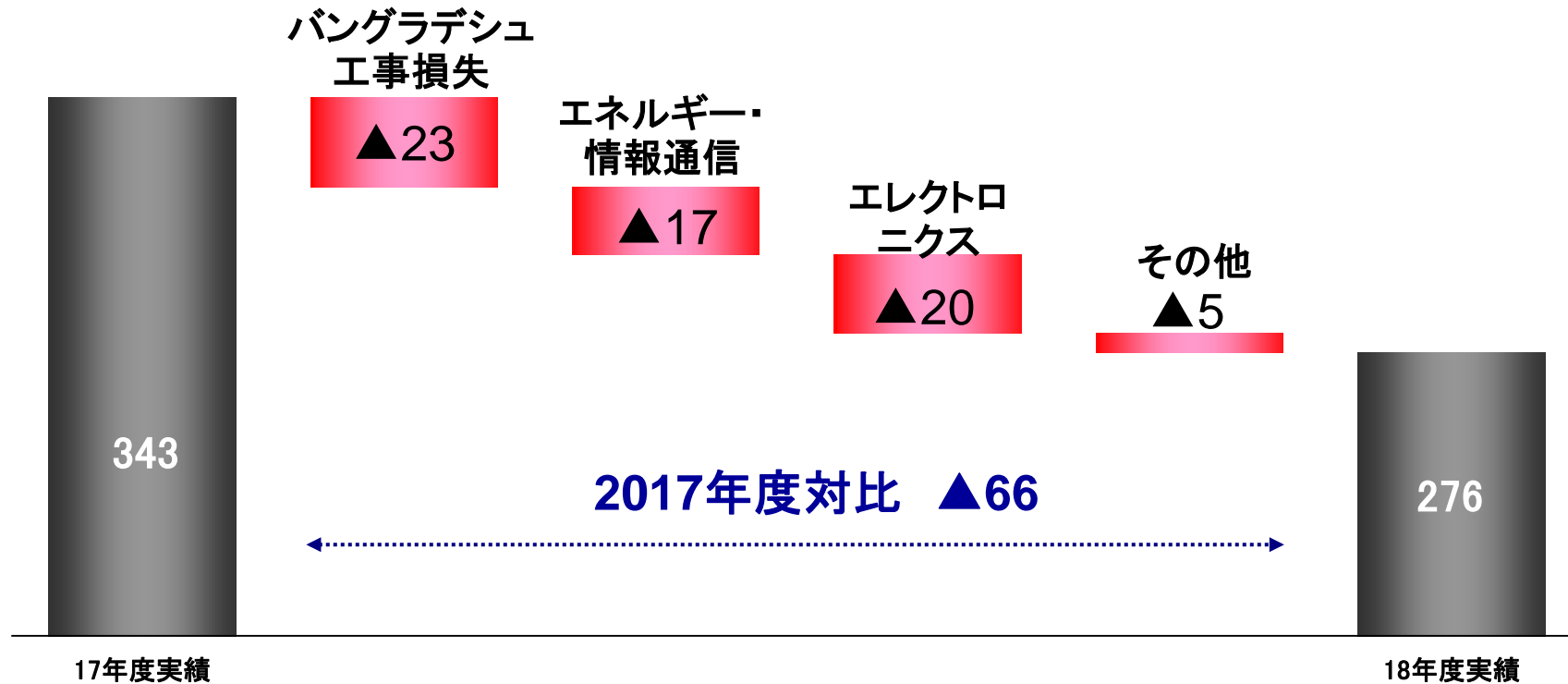
(単位:億円)



# 2018年度 営業利益の増減要因(前期比)

## 営業利益

(単位:億円)





# 2018年度 特別損益及び税金項目

## 特別損益

(単位:億円)

	2017年度	2018年度
営業利益	343	276
持分法投資損益	15	12
経常利益	341	210
特別利益	10	57
特別損失	65	162
税引前当期純利益	286	105
税金費用	75	75
非支配株主に帰属する 当期純利益	27	14
親会社株主に帰属する 当期純利益	183	14

投資有価証券売却益等を  
計上

ブラジル電力向け事業の  
不振による損失101億円  
及び品質不適合品関連損  
失17億円、事業構造改善  
費用等を計上

# B/S 主要項目(1)

(単位:億円)

	18年3月末	19年3月末	増減
〈資産〉	6,380	6,383	+2
流動資産	3,241	3,232	▲9
現金及び預金	342	367	+25
受取手形及び売掛金	1,512	1,415	▲96
たな卸資産	1,138	1,178	+39
固定資産	3,138	3,150	+11
有形固定資産	2,112	2,318	+205
無形固定資産	140	117	▲23
小計	2,253	2,435	+181
投資その他の資産	884	715	▲169

エレクトロニクス・自動車を  
中心に減少

設備投資 557億円  
(エレクトロニクス・情報通信の投資が中心)  
減価償却費 315億円

## B/S 主要項目(2)

(単位:億円)

	18年3月末	19年3月末	増減
負債純資産合計	6,380	6,383	+2
(内数 自己株式)	(▲63)	(▲63)	(+0)
〈負債〉	3,960	3,974	+13
支払手形及び買掛金	771	649	▲121
有利子負債	2,393	2,535	+141
その他流動負債	556	536	▲20
〈純資産〉	2,419	2,409	▲10
株主資本	2,104	2,075	▲28
(内数 自己株式)	(▲63)	(▲63)	(+0)
その他の包括利益累計額	88	90	+2
非支配株主持分	226	242	+15

設備投資資金の増加

# 2019年度予想

(単位:億円)

	2018年度 実績	2019年度 上期予想	2019年度 予想	2019年度予想 －2018年度実績 増減
売上高	7,107	3,400	6,900	▲207
営業利益	276	130	280	+3
営業利益率 (%)	3.9	3.8	4.1	+0.2
持分法投資損益	12	6	12	+0
経常利益	210	120	270	+59
親会社株主に帰属する 当期純利益	14	60	120	+105
1株当たり当期純利益(円)	5.09	21.03	42.06	+36.97
1株当たり配当(円)	12.00	5.00	10.00	▲2.00
自己資本利益率(ROE)(%)	0.7	—	5.4	+4.7
為替換算レート(USD/JPY)	110.93	105.00	105.00	—
銅ベース(千円/トン)	747	740	740	—

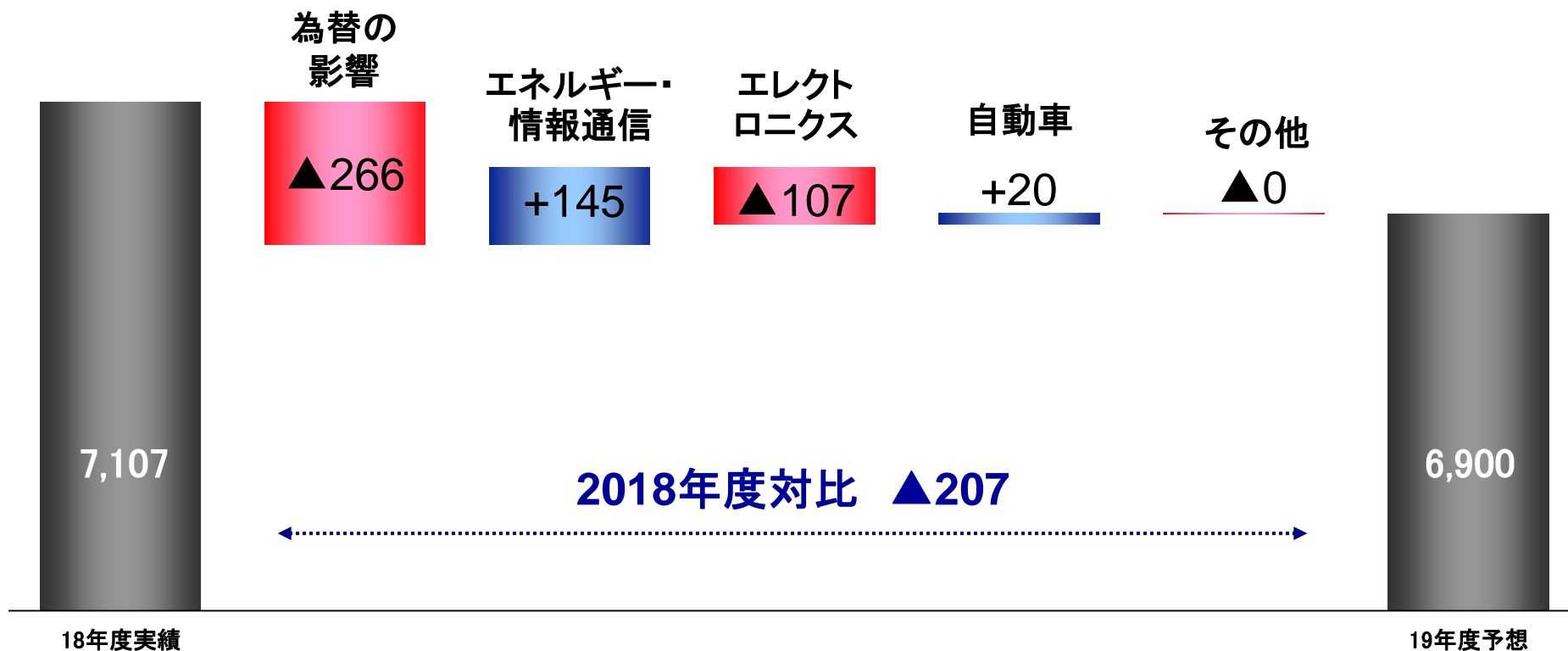
※当社グループの製品の一部において、品質管理に関わる不適切な事例の存在が判明しました。本件に関わる損失影響額が一部明らかとなり、2018年度において17億円を損失計上しております。今後も連結業績予想を見直す必要が生じた場合は、適時公表いたします。

- 売上高は、主に為替の影響により減収を見込む。
- 営業利益は、為替の影響や光ファイバの競争激化などがあるものの、自動車サブカンパニーのコスト改善やバングラデシュの送電線工事における材料費の急騰等に伴うコスト増解消により前年度並みを見込む。
- 経常利益は、営業外損益の改善により増益を見込む。
- 親会社株主に帰属する当期純利益は、経常利益の増加に加え、特別損失の減少により増益を見込む。

# 2018年度実績/2019年度予想 売上高の増減要因

## 売上高

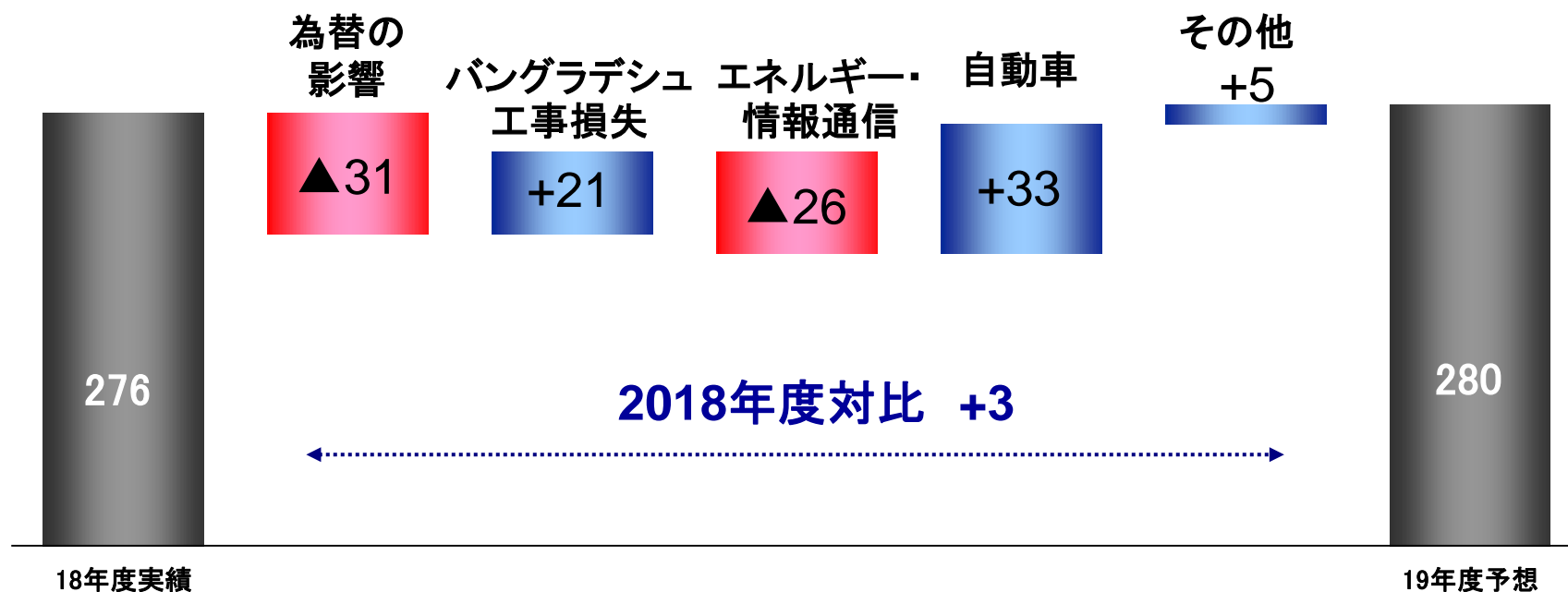
(単位:億円)



# 2018年度実績/2019年度予想 営業利益の増減要因

## 営業利益

(単位:億円)



## 2. セグメント情報



# セグメント別業績推移及び予想

(単位:億円)

## 売上高

セグメント	17年度 実績	18年度 実績	19年度 上期予想	19年度 予想
エネルギー・ 情報通信カンパニー	3,701	3,548	1,743	3,566
エレクトロニクス サブカンパニー	1,959	1,850	832	1,677
自動車 サブカンパニー	1,570	1,541	739	1,483
電子電装・コネクタ カンパニー	3,530	3,392	1,572	3,161
不動産 カンパニー	109	108	56	112
その他	59	58	27	59
合計	7,400	7,107	3,400	6,900

## 営業利益及び営業利益率

17年度 実績	18年度 実績	19年度 上期予想	19年度 予想
223 6.0%	177 5.0%	63 3.6%	145 4.1%
104 5.3%	83 4.5%	48 5.8%	87 5.2%
▲31 ▲2.0%	▲32 ▲2.1%	▲6 ▲0.9%	▲1 ▲0.1%
72 2.1%	51 1.5%	41 2.7%	85 2.7%
55 50.2%	50 46.1%	26 46.6%	50 45.2%
▲7	▲2	▲1	▲1
343 4.6%	276 3.9%	130 3.8%	280 4.1%

※一部事業の管理体制の見直しに伴い、17年度の数字を組替再表示しております。

※2019年度より自動車電装カンパニーは、旧来のエレクトロニクスカンパニーと統合し、電子電装・コネクタカンパニーとなっております。

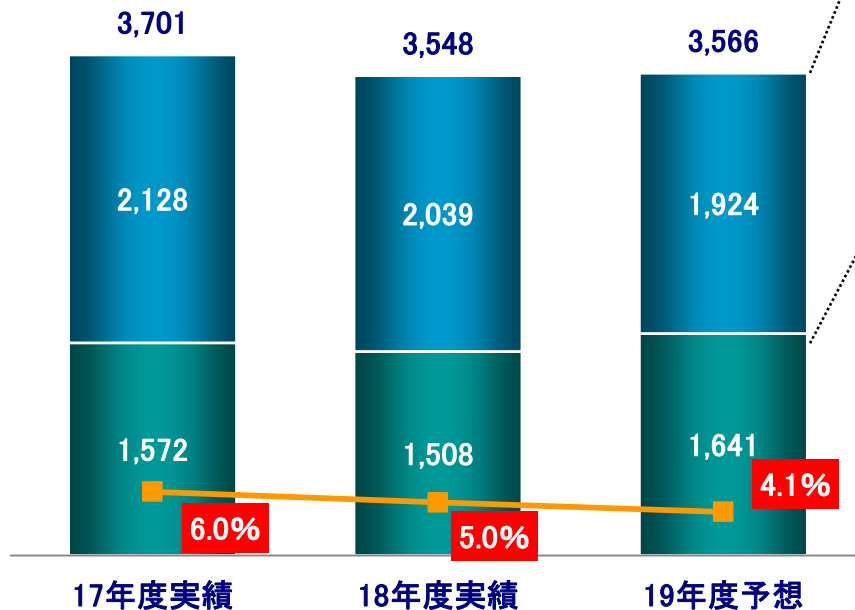
# エネルギー・情報通信カンパニー

- 18年度は、17年度における国内電線販売会社再編などの影響により減収。利益面では、国内外マーケットの競争激化や Bangladesh 送電線工事のコスト増などにより減益。
- 19年度は、Bangladesh 送電線工事のコスト増がなくなるものの、為替影響や光ファイバを中心に全体的に競争激化の影響を受けることにより減益を見込む。

(単位: 億円)

## 売上高と営業利益率

- エネルギー
- 情報通信
- 営業利益率



## エネルギー

- 18年度は、17年度の国内電線会社再編の影響などにより減収。
- 19年度は、中国送電線事業再編の影響などにより減収を見込む。

## 情報通信

- 18年度は、光ファイバ投資の収益貢献があったものの、データセンター向け需要の一服により減収。
- 19年度は、為替の影響はあるものの、海外FTTx工事で新規案件などで増収を見込む。

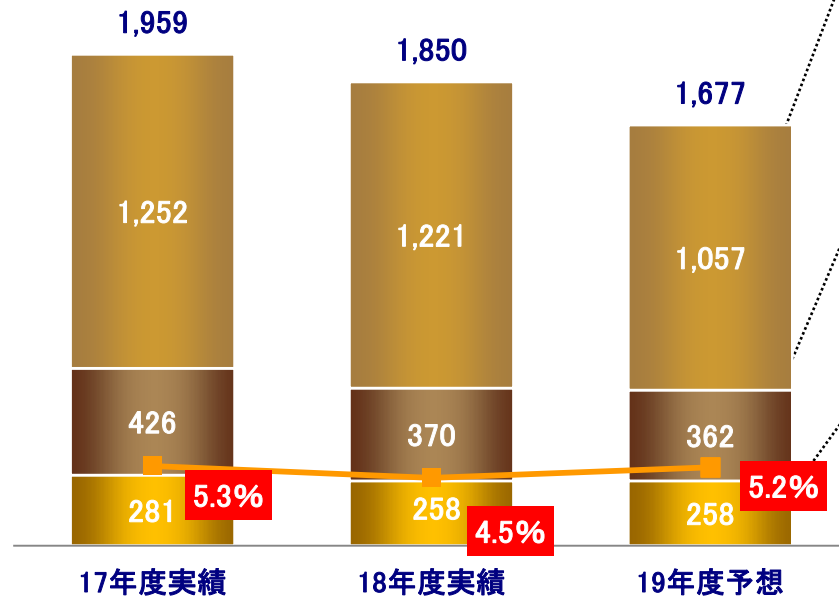
# エレクトロニクスサブカンパニー

- 18年度は、FPC・コネクタでスマートフォン向けを中心とした需要が4Qに急減し、減収減益。
- 19年度は、円高の影響やスマートフォン向けを中心に減収を見込むが、営業利益は品種構成の変化の影響や歩留り改善などのコスト削減により18年度並みを見込む。

(単位: 億円)

## 売上高と営業利益率

- FPC
- コネクタ
- その他
- 営業利益率



**FPC**

- スマホ向け需要は18年度、19年度と減少傾向。高付加価値品の取り込みにより収益性を高めていく。

**コネクタ**

- 18年度は、品種構成の変化の影響などにより減収。
- 19年度は、18年度並みの売上高を見込む。

**その他**

- 18年度は、品種構成の影響などにより減収。
- 19年度は、18年度並みの売上高を見込む。

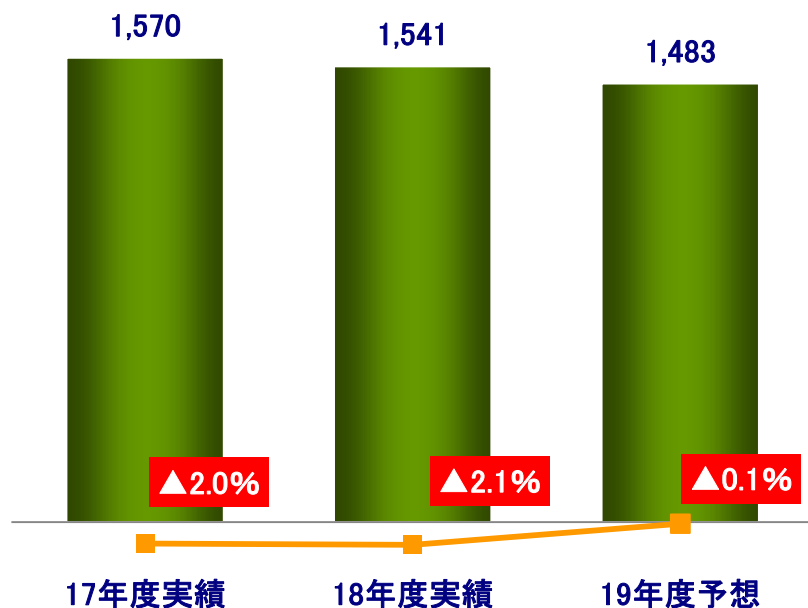
# 自動車サブカンパニー

- 18年度は、東欧製造拠点における離職率増加に伴う異常コストは減少したものの、アジアにおける顧客の減産影響などを受け、前年度並みの営業損益となった。
- 19年度は、売上高は円高の影響で減収を見込むものの、営業利益は東欧製造拠点からモロッコへの製造移管やアジアの構造改革によるコスト改善によりブレークイーブンを見込む。

(単位: 億円)

## 売上高と営業利益率

営業利益率



## 自動車関連

- 18年度は、前年度並みの売上となった。
- 19年度は、円高の影響により減収を見込む。

※2019年度より自動車電装カンパニーは、旧来のエレクトロニクスカンパニーと統合し、電子電装・コネクタカンパニーとなっております。

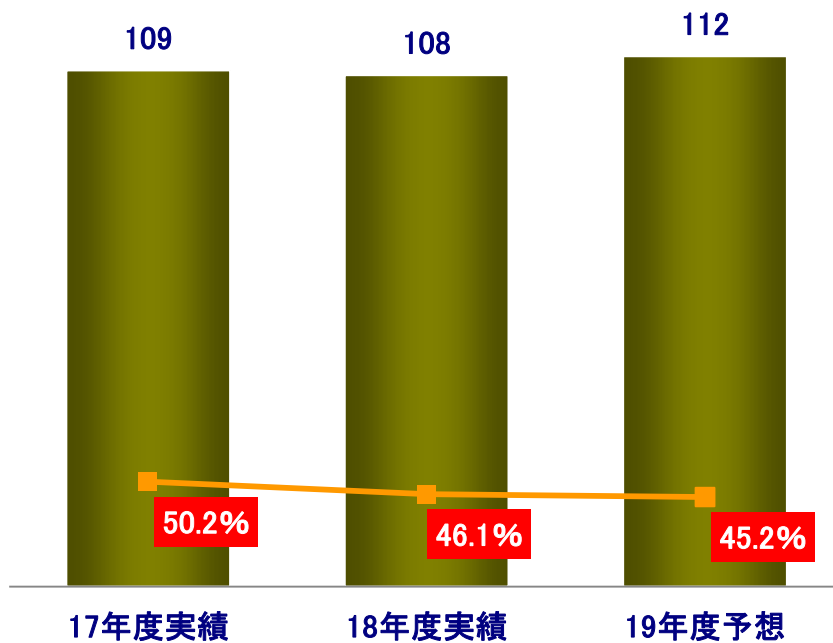
# 不動産カンパニー

■ 不動産賃貸収入が引き続き収益に貢献。

(単位: 億円)

## 売上高と営業利益率

— 営業利益率



## 不動産

■ 引き続き安定的な賃料収入を見込む。

# 設備投資及び減価償却費

(単位:億円)

	2017年度	2018年度	2019年度 予想
設備投資	425	557	370
(内製造事業)	401	543	355
(内不動産事業)	24	13	15
減価償却費	268	315	370
(内製造事業)	248	294	350
(内不動産事業)	19	20	20

# 有利子負債、金融収支、フリーキャッシュフロー

(単位:億円)

	2017年度			2018年度		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度
有利子負債	2,410	2,393	2,393	2,694	2,535	2,535
金融収支	▲2	▲7	▲10	▲9	▲10	▲20
フリーキャッシュフロー	▲114	79	▲34	▲188	164	▲23

フリーキャッシュフロー＝営業活動によるキャッシュフロー＋支払利息＋投資活動によるキャッシュフロー

### 3. 株主還元



# 利益還元

---

■ 20中期基本方針 配当性向 20%以上

■ 2018年度予想

◆ 配当12.0円/株(中間7.0円/株、期末5.0円/株、34億円)

17年度実績 14.0円/株(中間7.0円/株、期末7.0円/株)  
(17年度対比2.0円減配)

◆ 2016～18年度 累計 当期純利益 327億円  
配当性向 31.5%

# 利益還元

---

■ 20中期基本方針 配当性向 20%以上

■ 2019年度予想

◆ 配当10.0円/株(中間5.0円/株、期末5.0円/株、28億円)

(18年度対比2.0円減配)

19年度配当性向 23.8%



注記: 本資料は19年度におけるフジクラの経営方針(意思)をまとめています。19年度の売上・利益等については、直近状況を織り込んだ市場判断、投入に関するフジクラの意思を定量化していますが、将来時点で事業環境の変化等により変わることがあります。

【2018年度 補足資料】

事業セグメント別 売上高・営業利益 推移

単位:億円

事業セグメント別 売上高 推移

	2017年度							2018年度							2019年度 予想 (FY2019 Est)		
	1Q	2Q	3Q	4Q	上期	下期	年度	1Q	2Q	3Q	4Q	上期	下期	年度	上期	下期	年度 予想
エネルギー事業部門	504	513	587	522	1,018	1,110	2,128	501	509	524	503	1,011	1,028	2,039	929	995	1,924
情報通信事業部門	398	397	401	375	795	776	1,572	394	384	388	341	779	729	1,508	813	828	1,641
エネルギー・情報通信カンパニー	903	910	989	898	1,814	1,887	3,701	896	894	912	845	1,790	1,758	3,548	1,743	1,823	3,566
FPC	205	406	399	241	611	640	1,252	255	398	383	184	654	567	1,221	544	512	1,057
コネクタ	82	127	129	87	209	217	426	83	110	106	69	194	175	370	168	193	362
その他	73	71	67	68	144	136	281	67	72	61	56	139	118	258	119	138	258
エレクトロニクスサブカンパニー	360	604	597	397	964	994	1,959	406	581	551	310	988	862	1,850	832	844	1,677
自動車サブカンパニー	361	372	422	414	733	836	1,570	433	344	390	373	777	763	1,541	739	744	1,483
電子電装・コネクタカンパニー	721	977	1,019	811	1,698	1,831	3,530	839	926	941	684	1,765	1,626	3,392	1,572	1,589	3,161
不動産カンパニー	27	27	27	26	55	54	109	27	26	27	27	54	54	108	56	56	112
その他	12	16	15	14	29	29	59	12	12	16	16	25	32	58	27	31	59
合計	1,665	1,932	2,051	1,751	3,597	3,802	7,400	1,776	1,859	1,898	1,573	3,636	3,471	7,107	3,400	3,500	6,900

事業セグメント別 営業利益 推移

エネルギー・情報通信カンパニー	57	63	57	44	121	101	223	54	16	47	58	71	105	177	63	82	145
エレクトロニクスサブカンパニー	13	45	49	△ 3	58	45	104	9	57	41	△ 25	67	15	83	48	38	87
自動車サブカンパニー	△ 12	△ 16	2	△ 5	△ 28	△ 2	△ 31	△ 2	△ 19	△ 1	△ 8	△ 21	△ 10	△ 32	△ 6	5	△ 1
電子電装・コネクタカンパニー	0	29	51	△ 8	29	42	72	6	38	39	△ 33	45	5	51	41	43	85
不動産カンパニー	14	13	13	13	28	26	55	13	12	12	12	25	25	50	26	24	50
その他	△ 2	△ 1	△ 0	△ 3	△ 4	△ 3	△ 7	0	△ 0	△ 0	△ 1	0	△ 2	△ 2	△ 1	△ 0	△ 1
合計	70	105	122	45	175	168	343	75	67	98	35	142	134	276	130	150	280

※2018年度よりエネルギー・情報通信カンパニーの情報通信部門セグメントから他のセグメントへ一部事業の移管を行ったため、2017年度の実績値を組替再表示しております。  
 ※2019年度より自動車電装カンパニーは、旧来のエレクトロニクスカンパニーと統合し、電子電装・コネクタカンパニーとなっております。  
 それに伴い、2017年度及び2018年度の数字を組替再表示しております。

# 株式会社フジクラ